

◇・・・教育プラン重点事業

■取組2-2 歴史・文化資源等を活用した出張事業の推進【◇】	文化財係・自由民権資料館・文学館
---------------------------------------	------------------

事業概要	町田市の歴史や文化についてより多くふれてもらえるよう、学校や子どもセンターでの講座や市民センターなどでの展示の実施、他部署が主催するイベントへの参加など、歴史・文化に関する資源や情報を活用した学習事業を様々な地域で展開します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習総務課では、市庁舎イベントスタジオでの東京文化財ウィークに合わせた企画展示や青少年施設ひなた村などでの文化財の展示を行うほか、自治体主催の歴史講座や大学の講義、中学校の歴史の授業などでの出張講義を行っています。 文学館では、小学校での出張講座として、町田ゆかりの俳人の紹介と俳句クイズを行う「俳句であそぼう！」や、市庁舎イベントスタジオでの出張展示を実施しています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	出張事業（展示・イベント・講座等）の実施件数		28件	40件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業内容の検証		検証を踏まえた新たな事業の実施		
	出張事業の実施及び周知、関係機関への働きかけ				
年度目標	30件	32件	34件	37件	40件

<2021年度の事業実績>

実績値	36件
取組状況	<p>下記の出張事業を実施しました。</p> <p>※【 】内は実施場所 ※実施件数：36件 参加者数：17,327人</p> <ul style="list-style-type: none"> アウトリーチ展示【市役所イベントスタジオ、町田ツーリストギャラリー】3件 自由民権資料館の展示についての解説や講演会【図書館、市民センター】4件 地域の史跡などを歩いてめぐるフィールドワーク【野津田地区、原町田地区等】6件 地域の歴史に関する出張講座【図書館】3件 その他、地域の遺跡や歴史などに関する出張授業や講師派遣など【小中学校、生涯学習センター等】20件
課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の影響で出張事業を実施する場所、方法に制約を受けるなかで、感染対策の徹底と実施先の多様化を図る必要があります。 出張授業を継続的に行うために教員と連絡を密にとり学校のニーズを把握することが必要です。 学校の授業で活用できる資料を充実させる必要があります。
今後の取組の方向性	感染対策を講じながら、様々な年齢層にアプローチできる実施場所、方法を検討します。特に小中学校における出張事業を重点的に進めます。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・ 生涯学習センター・ 図書館・文学館
---------------------------	---------------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件		
	②SNS発信数	219回	800回		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		SNSを利用した情報発信			
年度目標 (指標①)	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標 (指標②)	520回	610回	670回	720回	800回

<2021年度の事業実績>

実績値 (指標①)	3件
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館に特設コーナーを設け自由民権運動の書籍を紹介しました。 文学館・堺市民センターにおいて出張展示解説を2件実施し、特別展のPR活動を行いました。
実績値 (指標②)	210回
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財関連施設の開館情報やイベントに関する情報などを中心に、ホームページを更新しました。更新回数は58回です。 自由民権資料館の開館状況や講座・講演会、展覧会等のイベントに関する情報など、Twitterによる情報発信を計152回行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> より多くの方が興味をもつような発信内容を検討する必要があります。 自由民権資料館では常設展示のリニューアルを行うため、その内容を周知する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 町田デジタルミュージアムと連携し、発信力を強化します。 自由民権資料館における常設展示のリニューアルを周知するため、リーフレットを作成・配布する他、ホームページやTwitterなどで積極的に情報発信を行います。

◇・・・教育プラン重点事業

■取組3-2 町田の歴史情報の提供【◇】 文化財係・自由民権資料館

事業概要	市民の郷土への理解や愛着がさらに深まるよう、町田の歴史をわかりやすく伝える「町田デジタルミュージアム*」を構築し、公開します。				
これまでの取組	新規事業				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	町田デジタルミュージアム構築の進捗		未実施	システム構築完了、公開（2022年度）	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	歴史資料分構築・公開	考古資料分構築・公開	考古及び民俗資料分構築・公開	公開	
	歴史コンテンツ編集				
年度目標	歴史資料分公開	考古資料分公開	考古及び民俗資料分公開	公開	公開・検証

*町田デジタルミュージアム：町田市が所蔵する考古、歴史、民俗資料をデジタル化し、インターネット上で閲覧できるようにする仕組みのこと。

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・民俗資料の撮影と「町田市立博物館所蔵民俗資料目録」のデジタル化を行いました。 ・年表及び考古資料に関する遺跡地図作成しました。 ・撮影した資料のレイアウト作成やトップページデザインの構築を行いました。 ・構築作業を全て終了し2000点以上の考古・歴史・民俗資料に関する画像の掲載（考古資料 約400点、歴史資料 約170点、民俗資料 約1600点）が完了しました。
課題	公開した町田デジタルミュージアムを多くの方に見ていただくためのPRが必要です。
今後の取組の方向性	PR用のポスター・チラシやホームページ・SNS・動画配信などを通じて、利用の促進を図ります。

■取組3-4 文化財の維持・保護・復旧の推進	文化財係
-------------------------------	------

事業概要	文化財を維持・保護し、下三輪玉田谷戸横穴墓群*、細野喜代四郎書斎*など、未整備、未公開の文化財の復旧・修復を推進します。				
これまでの取組	横穴墓、古民家など市内の指定文化財を復旧し、整備を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	下三輪玉田谷戸横穴墓群復旧整備		現況測量完了	整備完了・公開	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	整備 事前準備	保存管理計画策定 遺構再確認 調査、保存 処理調査	実施設計	整備工事	公開
年度目標	史跡整備事前準備完了	保存管理計画策定開始 遺構再確認調査 保存処理調査	保存管理計画策定完了 実施設計	整備工事	整備完了・公開

- * 下三輪玉田谷戸横穴墓群：古墳時代後期（7世紀ごろ）の地域の有力者の墓。崖面に横穴を掘り遺体を安置した。都内で唯一、墓の内部に家形の彫刻が施されている。
- * 細野喜代四郎書斎：町田を代表する自由民権運動家・細野喜代四郎が書斎として愛用した土蔵。解体され、現在部材の状態で保管されている。

<2021年度の事業実績>

達成状況	E 目標を大きく下回った、実施できなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な点検、清掃を行いました。 ・ 下三輪玉田谷戸横穴墓群については、町田デジタルミュージアムで内部も3Dパノラマビュー画像で公開しています。
課題	横穴墓内の天井や壁の崩落は進行しており、状況観察を継続的に行う必要があります。
今後の取組の方向性	保存管理計画策定に向けて劣化を最小限に抑えるため、必要に応じて急的な保存措置を講じます。

■取組3-5 文化財の公開・活用の充実				文化財係	
事業概要	文化財を積極的に公開・活用し、市民が文化財に触れ合える機会をより多く提供します。				
これまでの取組	市内の指定文化財の公開・活用イベントを実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	文化財の公開・活用イベント件数		4件	6件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	イベント4件実施			イベント5件実施	イベント6件実施
	イベント内容検証		イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討	イベント内容検証・新規イベント検討
	4件	4件	4件	5件	6件
年度目標	4件	4件	4件	5件	6件

<2021年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・まちだ〇ごと大作戦「縄文フェスティバル」と連携し、八幡平遺跡のガイドツアー1件を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた文化財の公開・活用イベント（多摩郷土史フェア、文化財防火デーなど）は中止となりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を公開・活用するには、破損が生じないよう対策が必要です。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の方策をとりながら事業を行う必要があります。
今後の取組の方向性	2022年4月から全面公開を開始した町田デジタルミュージアムと連携し、効果的な公開・活用のあり方を検討、実施していきます。

■取組3-6 展示事業の充実 自由民権資料館

事業概要	自由民権運動と町田の歴史情報をさらに発信できるよう、これまで収集・整理した市域の歴史資料を基にした企画展や、収蔵資料に加え関連資料を市内外の施設や個人から借用し展示する特別展を実施します。				
これまでの取組	企画展・特別展を年3回実施しています。 また、来館者アンケートにより展示等、資料館の満足度について調査を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	資料館への満足度 (来館者アンケート)		77%	85%	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	企画展・特別展 2回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施	企画展・特別展 3回実施
	展示・展覧会の内容の検証・改善				
	来館者アンケートによる調査・検証・改善				
年度目標	80%	82%	83%	84%	85%

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展「町田と江戸—ヒトとモノの交流史—」、「石坂昌孝—豪放磊落な民権家の生涯—」と企画展「第3回市民協働展」の計3回を実施しました。その他に三輪の森ビジターセンターにおいて「むかしの暮らしと運ぶ道具」の展示を実施しました。 ・特別展、企画展に対する来館者アンケートでは、「興味深かった」または「興味を持てた」と回答した方の割合は平均85%でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度に策定した「町田市自由民権資料館のあり方見直し方針」に基づき、町田市域の歴史をより広く市民に伝えるための展示内容を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	常設展・企画展・特別展の展示構成や内容の見直しを行い、町田デジタルミュージアムと連動した展示にリニューアルします。

■取組3-7 講座・講演会事業の充実 自由民権資料館

事業概要	より深く歴史について学びたいという市民のニーズに応えられるよう、古文書講座や町田自由民権カレッジを実施するほか、特別展・企画展に関連した講演会や講師を招いた講座・講演会等を実施します。				
これまでの取組	古文書講座、町田自由民権カレッジのほか特別講座や、特別展に関連した講演会を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	講座・講演会等の実施回数			60回	70回
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	講座・講演会 40回実施	講座・講演会60回実施		講座・講演会70回実施	
	講座・講演会の内容の検証・改善				
	年度目標	40回 ※改修工事の為	60回	60回	70回

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	新型コロナウイルス感染症対策のため、古文書講座を中止しましたが、町田自由民権カレッジ、特別展関連事業「記念講演会」、地域の史跡などを歩いてめぐる「町田の歴史を歩く2022」などを開催したほか、小中学校への出張授業、市民大学等への出張講師など計63回の講座・講演会を実施しました。
課題	新型コロナウイルス感染症対策のため、講座・講演会の内容や開催方法の見直しを検討する必要があります。
今後の取組の方向性	新型コロナウイルス感染症対策が必要な中でも、より効果的に市民が歴史を学ぶことができるように、講座・講演会を実施します

◇・・・教育プラン重点事業

■取組4-2 協働による研究・発表の推進【◇】	自由民権資料館・ 文学館
--------------------------------	-----------------

事業概要	市民の学習・研究意欲が高まり、学んだ成果を地域に還元してもらうことができるよう、市民の学習・研究活動の支援を行うとともに、協働して研究成果物の刊行や企画展・イベント等を実施します。				
これまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権資料館では、古文書講座や自由民権カレッジなどの修了生が組織する歴史研究グループの研究活動を支援しています。また、資料館の収蔵する史料の整理の一部を学生ボランティアの協力により行っています。 文学館では、2年を任期として市民がテーマを設定して研究を進める「市民研究員制度」を実施しています。また、市民研究員との協働により定期的に研究成果物を刊行し、研究発表の支援を行っています。 				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①研究成果物の刊行に向けた事業数		6事業	8事業	
	②研究発表会等の実施回数		未実施	毎年度実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	研究支援及び成果物の刊行				
	企画展・研究発表会検討		企画展・研究発表会実施		
年度目標 (指標①)	6事業	7事業	7事業	8事業	8事業
年度目標 (指標②)	検討	実施	実施	実施	実施

<2021年度の事業実績>

実績値 (指標①)	8事業
取組状況 (指標①)	史料集や目録の作成に向けての解読作業5事業、史料整理3事業について、関係団体が定期的に研究会を開催し活動できるように支援しました。解読作業の1件については、「晴雨日記1」を刊行することができました。
実績値 (指標②)	1事業
取組状況 (指標②)	「鶴川青年団文書」および、「天野政立文書」解読作業について、市民協働企画展を開催し、発表を行いました。
課題	関係団体の活動を支援するとともに、より多くの学習機会提供のため、史料整理を進める必要があります。
今後の取組の 方向性	関係団体の活動支援を継続しながら解読作業を継続するとともに、優先的に整理すべき重要資料群を選定し、整理を進めます。

◇・・・教育プラン重点事業

■取組5-3 文化財の保存と活用環境の整備【◇】 文化財係

事業概要	発掘調査や環境整備によって、牢場遺跡・稲荷山遺跡・八幡平遺跡からなる高ヶ坂石器時代遺跡を維持保存できるようにし、文化財の魅力をより広く伝えられるよう積極的に公開活用します。				
これまでの取組	遺跡整備工事、現場公開を各年度実施しました。 2016年度：稲荷山遺跡工事・公開、八幡平遺跡工事 2017年度：牢場遺跡工事・公開 2018年度：牢場遺跡史跡公園用地買収、牢場遺跡工事、八幡平遺跡工事				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	高ヶ坂石器時代遺跡整備進捗		整備着手	ガイドンス施設基本設計、展示基本設計完了	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	八幡平遺跡整備工事	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地設計	八幡平遺跡公開・見学会実施	八幡平遺跡整備工事、牢場遺跡買収地整備工事、ガイドンス施設	ガイドンス施設基本設計、展示基本設計
年度目標	八幡平遺跡整備工事	牢場遺跡設計 八幡平遺跡整備	八幡平遺跡公開・見学会実施	牢場遺跡整備 ガイドンス施設基本計画	ガイドンス施設基本設計、展示基本設計

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 八幡平遺跡の一般公開を4月1日から開始しました。 11月14日に開催されたまちだ〇ごと大作戦「縄文フェスティバル」と連携し、「縄文の街 町田」講習会と八幡平遺跡ガイドツアーを実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護に対する市民の理解を得るため、積極的な情報発信により遺跡の認知度を高める必要があります。 整備事業は、国や都からの補助金の採択状況によって、工事の内容等を再検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 八幡平遺跡の整備工事（植栽等）を実施します。 2018年度に取得した牢場遺跡内の土地の整備工事を実施します。 ホームページでの情報掲載、見学会の開催などを通じて、遺跡の魅力を発信します。

■取組5-4 歴史・文化資源の調査・研究・保存		自由民権資料館			
事業概要	所在調査・探索により発見された史料、寄贈・寄託等の申し出がある市域の各家等に残る史料を整理して、半永久的な学習・研究資源とするために保存環境を整えます。また、整理した史料は、利用者の希望に応え、展示や刊行物に還元できるよう目録を作成します。				
これまでの取組	市民ボランティアや大学等との協働により史料整理を行い、新たな史料の寄贈・寄託を受け入れながら仮目録の作成を進めています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①史料整理数（累計）		42,000点	67,000点	
	②目録作成点数		0件	3件目着手	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	史料の寄贈・寄託の受入れ、史料整理				
	史料目録作成（1件目）		史料目録作成（2件目）		史料目録作成（3件目）
年度目標（指標①）	47,000点	52,000点	57,000点	62,000点	67,000点
年度目標（指標②）	1件目 作成作業	1件目 作成完了	2件目 作成作業	2件目 作成完了	3件目 作成作業

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	C おおむね目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> 市民ボランティアや大学等との協働作業などで史料整理を進め、計約7,500点の史料整理を行い、計約56,500点完了しました。 「浪江虔関係史料」、「野津田町・石阪家文書」、「小川・細野家文書」、「つくし野・山下家文書」等の整理作業を進めています。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	「家永三郎文庫」の目録作成を予定していましたが、重要資料の整理を優先し、作業を延期しました。
課題	市史編さんに向けて、市域の重要史料の整理に取り組む必要があります。
今後の取組の方向性	重要史料群（「野津田町・河井家文書」、「小川・細野家文書」、「小野路町・細野家文書」、「相原町・青木家文書」）の整理を優先的に行います。